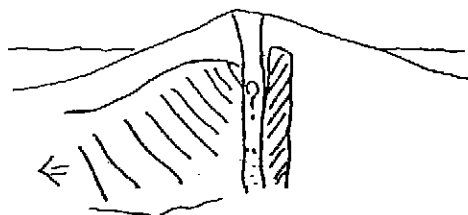


三宅島 2000 年噴火の推移について

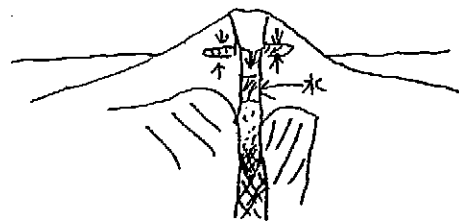
6月26-27日	6月27-7月7日	7月8日	7月8日-8月18日
島内岩脈貫入	岩脈北西進 三宅島収縮		傾斜ステップ

山頂火道内のマグマ頭位低下
山頂火道に空洞形成



火道内を上昇・下降する
マグマの動きを傾斜変動で
検知することは困難

島内帯水層から
地下水が火道に流入



○7月8日山頂沈降後
噴火

火口周辺 直径3kmの
範囲で 水が抜け落ち
30cm 上下方向に収縮(円盤状)
したら、傾斜観測点で
20 μ rad 程度の変化

地下間欠泉活動

- ・水蒸気爆発
- ↓
- ・マグマ水蒸気爆発

○傾斜ステップの前に
低周波地震活動活発化

